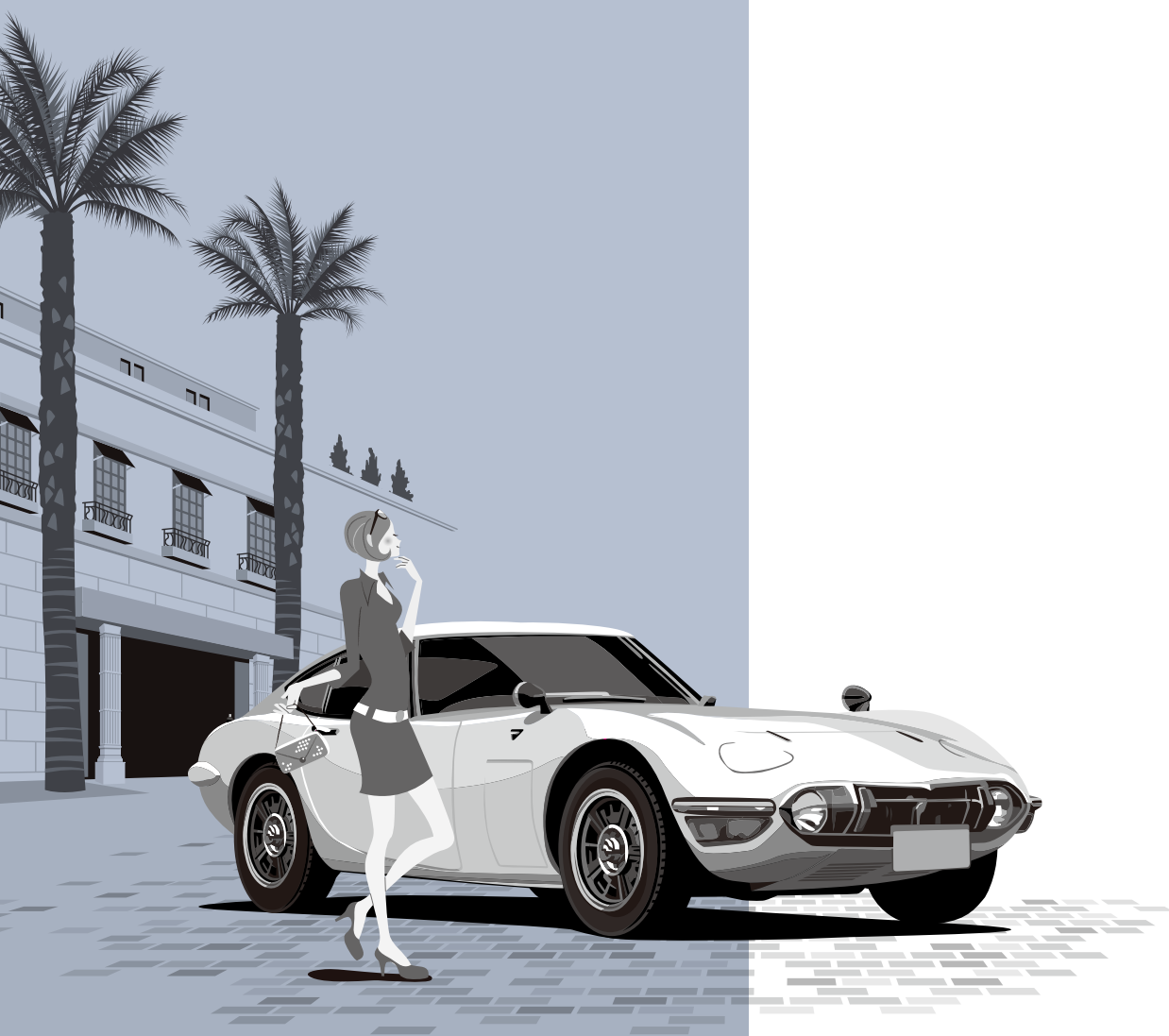


CSR REPORT 2022

茨城トヨペット CSRレポート 2022



CSR

Corporate Social Responsibility

CSR = 「企業の社会的責任」

CSRとは、企業が利益を追求するだけでなく、社会や環境へ与える影響に責任を持ち、企業に関わる全ての人たちからの要求に対し、企業として適切に応えることです。

CSR REPORT 2022

茨城トヨペット CSRレポート 2022

CONTENTS

02 トップ・メッセージ

時代は変わりますが 私たちの想いは変わりません

04 CSR基本方針／環境方針／労働安全衛生方針

CSR活動推進体制

05 持続的な発展を実現する社会をめざして

茨城トヨペットが実践するCSRの3本柱

06 SDGsへの取り組み

ISO14001認証取得活動取り組みから20年

07 CSR活動履歴

持続可能な社会を目指して

08 地球環境の保護と豊かな社会を実現するために

茨城トヨペットだからできること

10 環境への取り組み

地球のため、地域のため、未来のために

13 ふれあいグリーンキャンペーン

人の心に緑の憩いを

14 社会への取り組み

これからも、地域に密着した企業市民として

16 地域防災アカデミー

防災を家族で考えるきっかけに

17 社員への取り組み

それぞれが個性を活かし、イキイキと働ける環境を作るために

18 会社概要・店舗一覧

県内全域に及ぶ安心のネットワーク

20 ご意見・ご感想

お客様から寄せられたメッセージ

編集方針

本レポートは、茨城トヨペット株式会社のCSR(企業の社会的責任)に関する取り組みを、“お客様”“地域の皆様”“取引先”“社員”の4つのステークホルダーの皆さまに対しわかりやすい取り組み報告となるよう努めました。

CSRの取り組みは、皆さまとの対話なしには成り立ちません。本レポートをコミュニケーションの一助としてお読みいただき、添付のアンケートはがきからご意見をお寄せいただければ幸いです。

トップ・メッセージ



時代は変わりますが
私たちの想いは変わりません。

茨城トヨペット株式会社
代表取締役会長

幡谷 定俊

茨城トヨペットCSRレポート2022をご覧ください。
ありがとうございます。

当社は昨年11月に創立65周年を迎えることが出来ました。長きにわたりご愛顧賜りましたお客様、ビジネスパートナーの皆様、地域の皆様、ともに働いてくれているメンバーに、心から感謝申し上げます。

1956年の創業以来、地域の皆様と共に歩む未来を想像しながら、様々な取り組みにチャレンジしてまいりました。

なかでも環境への取り組みに関しては、特別な想いがあります。

SDGsという言葉が登場する前から、クルマを取り扱う会社として、産業廃棄物の

分別、廃油の管理、騒音・大気汚染の対策等、使命感を持って取り組んでまいりました。

2002年、県内の自動車販売会社で初めて「ISO14001」認証を取得してから20年がたち、現在は本社を含めて37事業所にまで広がりました。

その他にも、1976年から毎年行っている「ふれあいグリーンキャンペーン」、大洗海岸を清掃した「トヨタソーシャルフェス」など県内各地の環境保全も行っております。そうした一年間の活動内容をこの一冊にまとめていますので、ぜひご覧ください。

その他に、近年新たに始まった取り組みの中から3点ご紹介いたします。

一つ目は、カーシェアリング事業です。

2019年6月より新たな移動サービスとして、アプリ完結型の無人レンタカーサービス「トヨタシェア」を開始しました。水戸市、大洗町など県内17か所で、最短15分150円～、少しだけクルマを利用したいというお客様にご利用いただいております。

今年3月には、鹿嶋市とも「官民協働による観光活性化事業に関する協定」を締結し、鹿島神宮駅周辺でのサービスも予定しています。

二つ目は、洗濯代行サービス事業です。

2019年12月に県内初出店した「WASH&FOLD 水戸千波店」では、毎日の洗濯物を洗濯・乾燥・手たたみまで代行しております。

コインランドリー併設の他、フリーペーパーの撮影会やキャンドル作りなど地域の皆様が集うイベントも開催しました。

最後は災害時への備えです。

2021年3月、つくば市と「災害時における電動車両等に関する協定」を締結しました。

これは、当社の所有するPHEV車等を、災害が起きたときにつくば市へお貸しし、停電時における電力供給源として市の避難所等で利用していただきます。

また、同年5月にオープンした当社の「つくばみどりの店」では、電気自動車専用の充電スタンドや、災害時に給電可能な試乗車を用意しました。さらに、本社を含めた全店舗では、被災地に届ける飲料水を備蓄しておくなど、万が一に備えた取り組みを拡充しています。

私たち茨城トヨペットは、クルマを通じて

様々な形で、少しでも地域の皆様のお役に立ちたいのです。

そのような取り組みを続ける中で、私がメンバーにいつも伝えている言葉があります。

「今がスタートライン。変化を恐れず、前向きに、チャレンジし続けよう。」

自動車業界はハイブリッドカーから電気自動車へ、さらには自動運転車など技術の進化が加速し、大きな変革期を迎えています。販売においても、2020年5月からトヨタの全ての販売店で全車種を取り扱うようになりました。

時代は変わりますが、私たちの想いは変わりません。

「お客様と一生涯“笑顔”のおつきあい」

「カーライフの“快適”と“安全”でお役立ち」を基本理念に掲げ、お客様のお役に立つにはどうすればよいか、常に考えてチャレンジし続けます。

茨城トヨペットは今後も「地域の皆様に愛され、選ばれる会社」になれるよう、邁進してまいります。

情念定後



CSR基本方針／環境方針／労働安全衛生方針

社 是	「誠 実」 約束を守ること	「親 切」 気を配ること	「スピード」 時間を大事にすること
	関係法令を遵守し公正な企業活動と環境保全を行います。	社会、ステークホルダーと調和し、信用を第一義とした企業活動を行います。	既存の常識や枠組みにとらわれることなく新たな可能性にチャレンジします。

行
動
憲
章

【お客様に対して】

- 私たちは、【お客様と一生涯“笑顔”のおつきあい。】【カーライフの“快適”と“安全”でお役立ち。】の基本理念に基づき、お客様に真に満足頂ける優れた商品とサービスの提供に努めます。
- 私たちは道路運送車両法、消費者契約法、自動車公正競争規約など関連法令およびその精神を遵守し、お客様に信頼される営業活動を推進します。
- 私たちは、個人情報保護法及びその精神を遵守し、お客様の個人情報保護の徹底に努めます。
- 私たちは、お客様の要請・期待に応えることを第一と考え、公正で誠実な応対を実践し、お客様との絆を深めます。

【社会・環境に対して】

- 私たちは、環境目的・目標を定めて継続的に環境改善に努め、事業活動を通じ地球環境・地域社会との調和ある成長を目指します。
- 私たちは、省エネ・省資源・リサイクルの推進により廃棄物を削減し、環境保護と汚染の予防に努めます。
- 私たちは、社会・経済の要請に応え、法令等を守り、「人間性尊重」の経営を実践します。
- 私たちは、コミュニティの成長と豊かな社会作りを目指し、社会貢献活動を積極的に推進します。
- 私たちは、交通安全対策へ積極的に取り組みます。

【取引先に対して】

- 私たちは、取引先を尊重し、長期的な視野に立って相互信頼に基づく共栄共存の実現に取り組みます。
- 私たちは、独占禁止法、下請法をはじめとする関連法令およびその精神を遵守します。
- 私たちは、社会通念の範囲を超える利益の供与、申し出、約束をせず、自由で公正な取引を維持します。

【茨城トヨペットのメンバーに対して】

- 私たちは、安全で健康的な職場環境作りに努めます。
- 私たちは、労働関連法令を遵守すると共に必要な自主基準を設け管理レベルの向上を図ります。
- 私たちは、継続的な安全衛生水準の向上を目指し、『作業手順書』に沿った作業の遂行を徹底します。
- 私たちは、危険ゼロ・健康障害ゼロを目指すために、危険性又は有害性等を調査し実施事項を決定して、事故・労働災害の未然及び再発防止を図ります。
- 私たちは、メンバーが生き生きと働けるように、相互信頼・相互責任の精神にのっとり、互いを思いやり、それぞれの考え方や立場を尊重します。
- 私たちは、メンバーが誠実に仕事に取り組み、新しい価値の創造を目指すことができるよう、個々人の自己啓発・成長を支援します。
- 私たちは、機密情報を厳重に扱うとともに、適時的確な情報開示に努めます。

2018年4月13日改定

茨城トヨペットのCSR活動推進体制

CSR活動を推進するために、2006年4月に取締役社長を委員長とする「CSR委員会」を設置し、本社を中心に各販売拠点等を含めた取り組み方針の決定やCSR活動のレビューを実施しています。また、同時にCSR委員会の下部組織として、社内の代表メンバーで構成する「CSR事務局」を設置しています。



持続的な発展を実現する社会をめざして

私たちは、事業の特性を活かした車両提供、盲導犬の育成協力など、茨城トヨペットならではの特徴的な活動を実施するほか、スポーツ・教育支援活動など、地域との共生を図る様々な活動も行っています。

こうした活動を持続的に行うことは、私たちが事業活動を営む重要な基盤になっています。

私たちが住む地球は、地域固有のものから世界規模に至るものまで、さまざまな環境問題に直面しています。それらが深刻化していく中で、多くの企業が持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行っています。

私たち茨城トヨペットは、企業活動における環境負荷削減・環境リスク低減を通じて、持続可能な社会の発展と地球環境保全に貢献していきます。



茨城トヨペットが実践するCSRの3本柱

1

コンプライアンス

お客様の身になって考え、行動していく

法令・社会的規範への対応

人権、消費者への対応
公正なビジネス慣行

【コンプライアンス】とは法律や規則などに従って、活動を行なうこと。
「法令遵守」を意味する語として最近広く使われていますが、私たち茨城トヨペットは、法令遵守を含めた「社会からの要請」へ応えていくことが肝要と考えます。
お客様のお役に立ちたい、社会全体のお役に立ちたい、皆さんの喜ぶ顔が見たい、そのために、コンプライアンス、公正・透明性の確保に取り組んでいます。

2

環境対応

次世代へ残す地球環境への提言

環境保護活動への対応

環境マネジメントの全社運用

地球の温暖化、オゾン層の破壊、大気汚染、水質汚濁など、今や企業にとって環境問題は避けて通ることはできません。
私たち茨城トヨペットは環境マネジメントの国際規格【ISO14001】に取り組むことにより環境保護活動を推進し、ハイブリットカー『プリウス』をはじめとした環境に配慮した車の普及に努めています。



ISO14001登録証

3

社会貢献活動

健全で持続可能な地域社会づくり

コミュニティー参画

地域活動支援
環境活動を通しての社会貢献

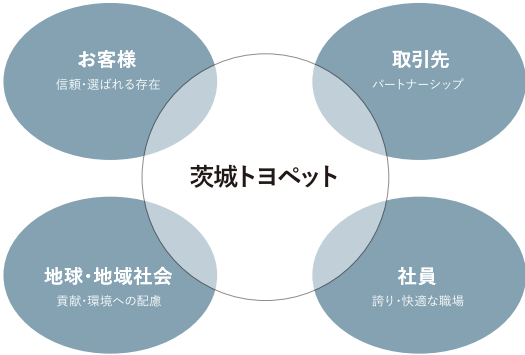
私たち茨城トヨペットは、地域の皆様に愛され続ける企業であることを宣言致します。
上記の地球環境を見据えた環境マネジメントシステムISO14001全事業所認証取得に向けた継続的な活動、茨城エコ事業所登録制度への全店舗認定。
1976年から毎年続いているふれあいグリーンキャンペーンでは県内の各自治体に3,800本以上の苗木を寄贈し続けています。
「環境・地域」愛。
それが、私たち茨城トヨペットです。

4つのステークホルダーから必要とされるために

CSRとは、企業が利益を追求するだけでなく、社会や環境へ与える影響に責任を持ち、企業に関わる全ての人たちからの要求に対し、企業として適切に応えることです。

私たちにとって社会的責任を果たすこととは、お客様、地球・地域社会、取引先、社員の4つのステークホルダー※のニーズを満たし、満足度を高めることと考えています。

企業価値を高め、「地球・地域社会から愛され、選ばれる存在・必要とされる存在」であり続けるために、社会とともに持続可能な発展を目指します。



※ステークホルダー：企業に対して利害関係を持つ人のこと。お客様や社員、株主だけでなく、地域社会までも含めている場合が多い。

SDGsへの取り組み

茨城トヨペットは、国連が掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けて真摯に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「SDGs(エスディージーズ)」とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

さまざまな分野にまたがる国際社会共通の課題に対し、国や政府だけでなく、企業や市民一人ひとりがSDGsを自分のこととして考え行動していくことが大切です。

今後も地域の皆様との交流を深め、2030年までに達成すべき目標に向かって、4つのステークホルダーと協力しながら達成を目指します。

茨城トヨペットがSDGsの達成にどのように貢献できるのか。私たちの取り組みについて、本レポートでご紹介します。

環境活動の国際規格、ISO14001認証取得活動取り組みから20年

私たち茨城トヨペットは、持続可能な開発をテーマに、法規制の遵守などにとどまらず、自主的、積極的かつ継続的に環境保全に取り組むためのマネジメントシステムを定めた国際規格「ISO14001」の認証取得に県内でもっとも早く着手してきました。

ISO認証取得活動取り組みから20年が経過しましたが、私たちがすべきことはまだまだたくさんあります。

そして2006年からは、環境問題はもとより、あらゆるステークホルダーを重視した経営が重要だと考え、「企業の社会的責任=CSR」に取り組んでいます。

これからも地域社会から信頼される企業市民として成長を持続できるよう、お客様、地域社会、取引先、茨城トヨペットのメンバーなど、すべてのステークホルダーを重視した経営を実践いたします。



ISO14001とは

ISO14001とは、企業や組織が環境保護に取り組むためにISO*が定めた環境マネジメントシステムの国際規格のことです。

ISOより認定を受けた機関が、企業のこの規格に対する適合状況(マネジメントシステムの構築と運用状況)を審査し、合格すれば認証を取得できます。認証取得後も継続して維持審査(定期審査)、更新審査があります。

*International Organization for Standardization:国際標準化機構

茨城トヨペットでは、2001年4月に「環境委員会」及び委員会をサポートするチームとして「ISO推進事務局」を発足、環境マネジメントシステムの取り組みを開始しました。

「販売」「整備」「廃棄」にかかわる過程での環境影響に対応するため、【低燃費・低排出ガス車の社会への提供】【廃油・廃部品の適正処理】【テクノショップの管理】【CO₂の削減】などの環境目標を設定しました。(P10~P12参照)

設定した環境目的・目標が計画通りに進んでいるか、決まりや手順がきちんと運用されているかをチェックするため、毎年10~11月に【内部監査】、翌1~2月には当社の環境マネジメントがISO14001の要求事項に適合して構築・運用されていることを確認する第三者機関による【定期審査】が行われます。

茨城トヨペットでは、2001年度にまず2店舗の「ISO14001」認証を取得。2002年度に本社及び8店舗、2003年度には10店舗、と順次認証範囲を拡大、2022年4月現在本社及び36事業所のISO14001認証を取得しています。



■ ISO14001認証拠点

本社、水戸千波店、大宮バイパス店、日立田尻店、日立森山店、牛久南店、筑西神分店、石岡東大橋店、江戸崎店、古河東牛谷店、坂東店、大津港店、大子バイパス店、笠間大鳥居店、下妻店、常総石下店、神栖店、守谷松並店、ひたちなか昭和通り店、潮来店、テクノセンター、U-Carセンター6号水戸店、笠松運動公園店、小川野田店、つくば西大橋店、6号取手店、竜ヶ崎出し山店、ひたち野うしく店、神栖知手店、土浦荒川沖店、つくば東大通り店、土浦並木店、U-Carセンター6号みのり店、つくば学園の森店、GR Garegeつくば、レクサスつくば、レクサスCPOつくば(2022年4月現在)

持続可能な社会を目指して 環境活動・社会貢献活動を展開しています

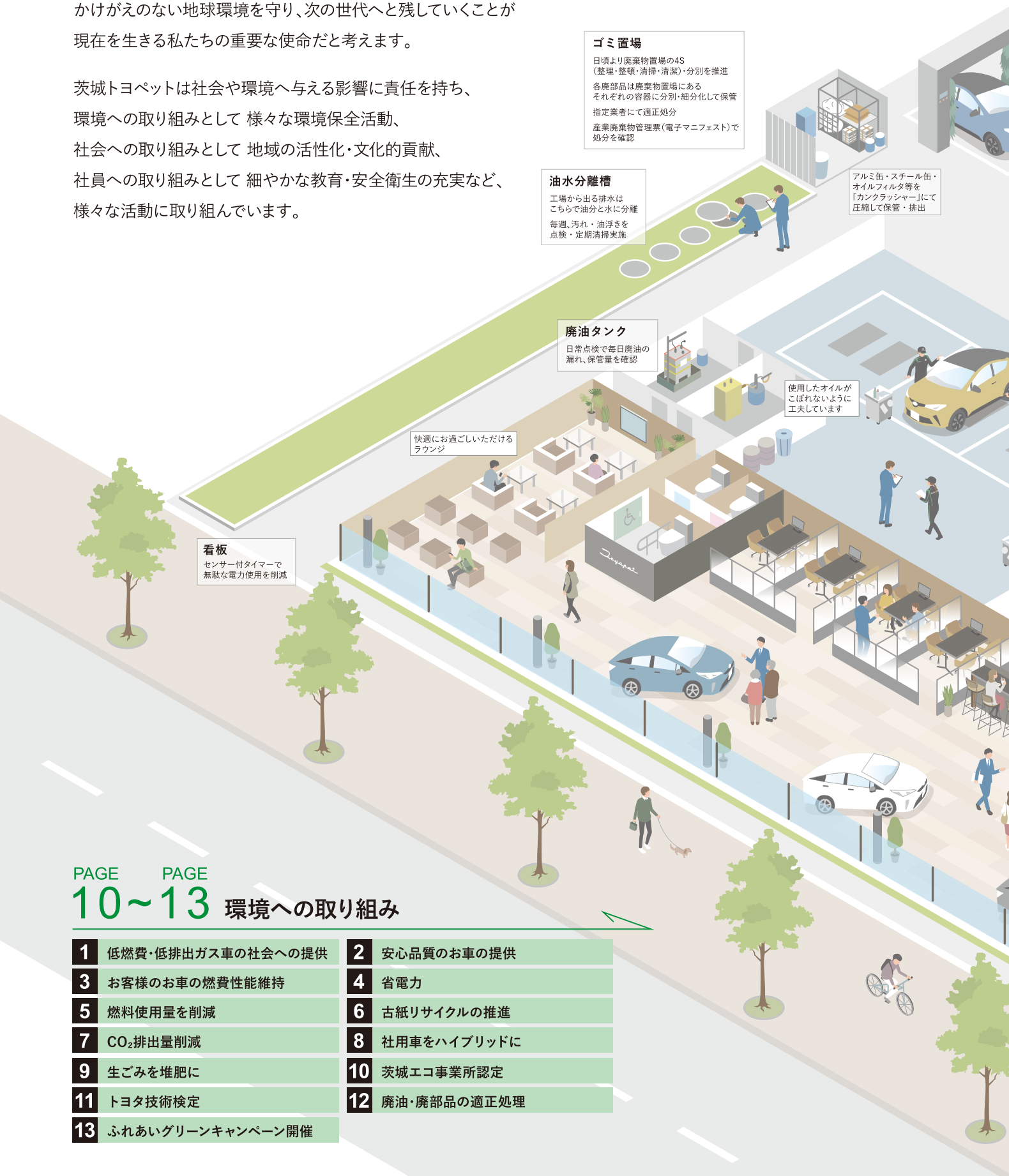
茨城トヨペット CSR活動履歴(概略)

	活動履歴	関連情報	
	1956年(昭和31年) 11月 水戸市五軒町に会社創立		
	1964年(昭和39年) 本社現在地に移転		
	1976年(昭和51年) ふれあいグリーンキャンペーン開始	P13	
	1990年(平成2年) 茨城トヨペット杯ゲートボール大会開始		
	1991年(平成3年) 本社・水戸千波店 新社屋完成		
	2001年(平成13年) ISO推進事務局開設	P06	
	環境マネジメントシステム取組開始	P06	
	2002年(平成14年) 自動車ディーラーとして県内初のISO認証取得	P06	
	2003年(平成15年) 茨城トヨペット杯小学生ドッジボール大会開始	P14	
	ISO14001 定期審査、新たに本社及び8店 認証取得	P06	
	2004年(平成16年) ISO14001 定期審査、新たに10店 認証取得	P06	
	2005年(平成17年) ISO14001 更新審査 登録更新、新たに2店 認証取得	P06	
	レクスアつくば開店	P19	
	2006年(平成18年) ISO14001:2004(改訂規格)に移行	P06	
	市町村合併により一部店舗名称変更		
	2007年(平成19年) ISO14001 定期審査、新たに1店 認証取得	P06	
	全社で環境マネジメント取り組み開始		
	セーフティーキャンペーン開始	P14	
	2008年(平成20年) ISO14001 更新審査(2回目)、新たに4店 認証取得	P06	
	環境目標に「販売実績に応じて盲導犬基金へ寄付」を追加	P15	
	第1回介助専門士養成講習実施		
	茨城エコ事業所に全店認定	P11	
	2009年(平成21年) ISO14001 定期審査、新たに2店 認証取得	P06	
	古紙リサイクル開始	P11	
	日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付	P15	
	第2回 介助専門士養成講習実施		
	2010年(平成22年) ISO14001 定期審査、新たに1店 認証取得	P06	
	日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付	P15	
	第3回 介助専門士養成講習実施		
	太陽光発電を導入したひたちなか昭和通り店オープン	P19	
	2011年(平成23年) ISO14001 更新審査(3回目)、新たに1店 認証取得	P06	
	東日本大震災発生		
	日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付	P15	
	トヨタ原体験プログラム(現トヨタ未来スクール)開始	P14	
	2012年(平成24年) 太陽光発電を導入した神栖知手店オープン	P19	
	日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付	P15	
	2013年(平成25年) ISO14001 定期審査、新たに4店 認証取得	P06	
	ウェルキャブステーション つくば西大橋店に設置	P15	
	日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付	P15	
	2014年(平成26年) ISO14001 更新審査(4回目)	P06	
	日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付	P15	
	2015年(平成27年) 関東・東北豪雨により鬼怒川堤防決壊		
	日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付	P15	
	2016年(平成28年) ISO14001 定期審査、新たに3店 認証取得	P06	
	日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付	P15	
	2017年(平成29年) ISO14001 更新審査(5回目)	P06	
	太陽光発電、多目的スペース、災害時用井戸を導入したつくば学園の森店オープン	P19	
	日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付	P15	
	2018年(平成30年) ISO14001:2015(改訂規格)に移行	P06	
	日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付	P15	
	2019年(令和元年) ISO14001 定期審査、新たに1店 認証取得	P06	
	日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付	P15	
	2020年(令和2年) ISO14001 更新審査(6回目)	P06	
	2021年(令和3年) 日本盲導犬協会へ前年実績からの積立金を寄付	P15	
	ISO14001 定期審査、新たに1店 認証取得	P06	

地球環境の保護と豊かな社会を実現するために

かけがえのない地球環境を守り、次の世代へと残していくことが
現在を生きる私たちの重要な使命だと考えます。

茨城トヨペットは社会や環境へ与える影響に責任を持ち、
環境への取り組みとして 様々な環境保全活動、
社会への取り組みとして 地域の活性化・文化的貢献、
社員への取り組みとして 細やかな教育・安全衛生の充実など、
様々な活動に取り組んでいます。



PAGE 10 ~ 13

環境への取り組み

1 低燃費・低排出ガス車の社会への提供	2 安心品質のお車の提供
3 お客様のお車の燃費性能維持	4 省電力
5 燃料使用量を削減	6 古紙リサイクルの推進
7 CO ₂ 排出量削減	8 社用車をハイブリッドに
9 生ごみを堆肥に	10 茨城エコ事業所認定
11 トヨタ技術検定	12 廃油・廃部品の適正処理
13 ふれあいグリーンキャンペーン開催	

PAGE 14~16 社会への取り組み

- | | | | |
|---|----------------|---|-----------------|
| 1 | 小学生ドッジボール大会開催 | 2 | トヨタ未来スクール開催 |
| 3 | セーフティーキャンペーン実施 | 4 | 福祉車両「ウェルキャブ」を販売 |
| 5 | AEDを全店に設置 | 6 | 幼児向け交通安全教材の贈呈 |
| 7 | 季刊情報誌「さんさん」発行 | 8 | (公財)日本盲導犬協会へ寄付 |
| 9 | 地域防災アカデミーを開催 | | |

PAGE 17 社員への取り組み

- | | |
|---|--------------------|
| 1 | くろみんマークに認定 |
| 2 | 安全衛生委員会の設置の推進 |
| 3 | ワーク・ライフ・バランスの推進 |
| 4 | ハラスメントの防止 |
| 5 | 社内サービス技術コンクールを開催 |
| 6 | 「人の成長」に重きをおいた採用・研修 |

特定施設(エアコンプレッサー・
門型洗車機)の騒音で近隣に
迷惑をかけていないか点検実施
その他夜間照明・臭い・埃等で
迷惑をかけていないか点検

サービスエンジニア
整備技能向上を図るため
全エンジニアが「トヨタ技術検定」
1級取得を目指し取り組む

テクノショップ
日頃から「汚さない作業」と、
「汚したらその場で清掃」の徹底
オイルをこぼしてしまった時は
ウエスですぐ拭き取る
定期的にオイル流出等緊急事態を
想定した訓練を実施
自社鍛金工場での内製化を推進

事務所
CO₂削減のためエアコン温度の設定及び管理
(クールビズ・ウォームビズの実施)
事務用品はグリーン商品を積極的に購入
個人情報情報はシュレッダー処理
古紙リサイクルの推進

部品庫
廃棄物の削減、省資源を目的
としたトヨタかんぱん方式に
よる在庫部品管理

休憩・会議室
CO₂削減のため、
未使用場所・昼休み・
休憩時間等の消灯を徹底

社用車
CO₂排出量の削減を目的として
社用車に電動車を使用
運転は「エコドライブ」を徹底

ショールーム
お客様のお車の燃費性能維持・最適メンテナンスを
目的とした「スマイルパスポート」の販売
積極的に蛍光灯照明器具をLEDに切り替え
解約した古い携帯電話のお引き取り

地域コミュニケーション
「こども110番の店」事業を展開
毎月1回地域周辺のゴミ拾いを実施

環境への取り組み

地球のため、地域のため、未来のために 環境保全に自主的かつ積極的に取り組んでいます。

1 低燃費・低排出ガス車の社会への提供

2021年度 電動車販売台数

3,480台

1997年、世界初の量産型HEVとして誕生したプリウス。発売以来、日本国内はもとより世界中でたくさんのオーナーの方々に愛されています。

茨城トヨペットでも、この世界最高の環境性能を追求したプリウスをはじめとする環境に優しいHEV・PHEV・FCVなどの電動車をお客様にお届けしています。

2 安心品質のお車の提供

2021年度 U-Car小売台数

3,255台

下取したお車の徹底した事前点検と車内クリーニング、エンジンオイルやエレメント交換等の整備を行い、次のお客様に高品質かつ安心の中古車をお届け。トヨタならではの「3つの安心※1」をセットにしたトヨタ認定中古車も数多く取り揃えるなど、環境保全型ビジネスを推進しています。

※1:車両検査証明書、まるごとクリーニング、ロングラン保証

3 お客様のお車の燃費性能維持

2021年度 車検入庫台数
34,400台
スマイルパスポート会員数※2
43,615件

茨城トヨペットには、レースや技術コンクールに出場し、腕を磨いた整備のプロフェッショナルが数多く在籍しています。トヨタブランドの高い品質と確実な作業で、お客様の愛車の点検・車検整備をスピーディに実施いたします。

また、燃費性能維持、お客様が快適にお車をご使用いただくために、定期的なメンテナンスをサポートするメンテナンスパックメニュー「スマイルパスポート」をお勧めします。

※2:2022年4月現在

4 省電力 2021年度 使用電力量 3,575,363kwh

新店舗や改築時の省電力タイプ照明・冷暖房器具の採用、こまめな消灯やクールビズ・ウォームビズの導入による冷暖房の温度調整などの励行を行い省電力に努めています。

2021年度の1店舗あたりの使用電力量は2001年度比で67.4%でした。

使用電力量推移

	01年度【基準年】	18年度	19年度	20年度	21年度
使用電力量	4,549,165	3,424,837	3,508,406	3,406,465	3,575,363
1店舗当たり (2001年比)	126,366	79,647 (63.0%)	81,591 (64.6%)	79,220 (62.7%)	85,128 (67.4%)

単位:kwh

5 燃料使用量 2021年度 原油換算使用量 617,177L

当社で使用したガソリン、軽油、灯油などの燃料を原油に換算して年度ごとの使用量を把握しています。社用車、営業車などの車両用としての使用が主な内訳です。低燃費車プリウスの導入やエコドライブなどによる削減を実施しています。

2021年度の1店舗あたりの原油換算使用量は、2001年度比で50.1%でした。

燃料使用量推移

	01年度【基準年】	18年度	19年度	20年度	21年度
原油換算使用量	1,081,007	693,322	543,028	574,739	617,177
1店舗当たり (2001年比)	30,028	16,910 (56.3%)	13,245 (44.1%)	14,018 (46.7%)	15,053 (50.1%)

単位:L

●2001年度は環境マネジメント導入開始年のため、全てのデータで基準年度としています。



6

古紙リサイクルの
推進

2021年度 古紙リサイクル量(全店)

111,620 kg

茨城トヨベツでは、オフィスから出る紙をリサイクルする取り組みを2009年度より始めました。

2021年度は樹齢30年の木 約2,232本分※3がリサイクルできました。

※3: 50kgの紙は樹齢30年の木1本分とされています。

7

CO₂
排出量2021年度CO₂排出量3,329 t-CO₂

電力使用量、燃料使用量削減の結果、1店舗あたりのCO₂排出量も削減しています。

2021年度の1店舗あたりのCO₂排出量は、2001年度比で54.7%でした。

CO₂排出量推移

	01年度【基準年】	18年度	19年度	20年度	21年度
CO ₂ 排出量	5,340	3,035	3,226	2,872	3,329
1店舗当たり (2001年比)	148.3	72.3 (48.7%)	75.0 (50.6%)	70.0 (47.2%)	81.2 (54.7%)

単位:t-CO₂(二酸化炭素トン): さまざまな温室効果ガス(CO₂、メタン、一酸化二窒素などをCO₂に換算し、t(トン)単位で表示した値。

※2006年度より政府によって公表された電力会社の実績値を用いて算定を行うことが出来るため、電力部分の算定に出力産公表値を使用しています。

8

社用車を電動車に



茨城トヨベツは地球環境保護活動の一環としてCO₂排出量の削減に取り組んでいます。社用車として、「プリウス」や「MIRAI」など電動車を多数使用しています。

9

生ごみを堆肥に



本社社員食堂から出た生ごみは生ごみ処理機で処理することで大幅なごみ減量化、ごみ処理費用の削減になります。年間約2,400kg排出していた生ごみは80%以上が水と炭酸ガスに分解され、発酵分解した残りは有機肥料の原料になります。

10

茨城エコ事業所認定



茨城エコ事業所登録制度は、事業所の規模や業種等に関わらず、環境に配慮した取組を行う事業所を、茨城県が「茨城エコ事業所」として登録して、その取組を広く県民の皆様を紹介することにより、環境に配慮した取組の普及・啓発を図り、環境への負荷の少ない循環型社会づくりに寄与することを目的としています。茨城トヨベツは、2008年10月14日付けで茨城エコ事業所として登録認定されました。

11

トヨタ技術検定

トヨタの技術力を支えるサービススタッフ。
茨城トヨペットには技術を磨いた整備のプロフェッショナルが数多く在籍しています。

2021年度 トヨタ技術検定1級保有状況

保有者数	保有者比率	店舗あたり
170人	60.3%	4.4人

2021年度 トヨタエスティメーション(鈑金見積もり)検定1級保有状況

保有者数	1級在籍店舗比率
145人	100%



12

廃油・ 廃部品の 適正処理



油水分離槽
工場から出る排水はこちらで油分と水に分離

環境保全は発生源対策が基本と考え、事業活動全般の領域で省資源化・分別、リサイクル推進と廃棄物の削減、汚染の予防に努めています。

お車を快適な状態に保つための点検・整備の結果、廃油、冷却水、ガラスくず、廃プラスチック、バンパー、バッテリー、金属類とさまざまな廃棄物が発生します。これら廃棄物の発生量をおさえるため、廃棄物保管所では廃棄物の種類ごとに分別することでリサイクルしやすくしています。

また、缶圧縮機を全拠点に配備。オイルの缶やオイルフィルターは圧縮することで容量を大幅に減少します。このような活動の結果、2021年度の1店舗あたりの産業廃棄物処理費用は2001年度比43.0%まで圧縮できました。

廃棄物の種類と主な処分方法

古紙・ダンボール・新聞紙・雑誌等	新たな紙製品に再生
樹脂バンパー【トヨタ車のみ】	自動車部品に再生
バッテリー	回収後リサイクル
廃油	重油に再生
金属部品	金属製品に再利用
プラスチック類／電池／冷却水／ ガラスくず及び陶磁器くず／ シュレッダーくず	回収後、適正に処分 (一部リサイクル)
タイヤ	工場燃料に利用
ガラス／蛍光管	ガラス製品に再生



ゴミ置き場
日頃より廃棄物置き場の4S(整理・整頓・清掃・清潔)・分別を推進

産廃処理費用推移

	01年度【基準年】	18年度	19年度	20年度	21年度
産廃処理費用	20,611	10,472	10,527	9,543	10,430
1店舗当たり (2001年比)	606	262 (43.2%)	263 (43.4%)	233 (38.4%)	261 (43.0%)

単位:千円

※前号の産廃処理費用の数値に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

●2001年度は環境マネジメント導入開始年のため、全てのデータで基準年度としています。

環境目的・目標

	環境目的	環境目標	環境影響	評価
ビジネスの推進 環境保全型	低燃費・低排出ガス車の社会への提供	低燃費車・電動車の普及	地球温暖化防止 大気汚染予防	△
	安心品質のお車の提供	U-Car販売の促進		△
	お客様のお車の燃費性能維持	車検入庫台数 目標達成		△
	安心品質のお車の提供・省資源の推進	鈑金整備台数の向上及び再修理率の低減	資源枯渇低減	△
	盲導犬基金への協賛	新車受注毎の積立	社会貢献 盲導犬の普及	△
		U-Car販売毎の積立		
車検ご入庫毎の積立				
活動 環境保全	CO ₂ の削減	電気使用量の削減	地球温暖化防止／資源枯渇低減	○
		燃料使用量の削減		○
	省資源の推進	古紙リサイクルの推進	森林保護	○
		蛍光灯リサイクルの推進	資源枯渇低減	○
管理 テクニ シヨッ プ	廃棄物の適正処理	リサイクルの推進と廃棄物の削減	生活環境の保全／公衆衛生の向上	○
	エアークンプレッサー・洗車機の騒音管理	運用手順の遵守、自主点検の実施	健康障害予防	○
	緊急事態への対応	油水分離槽の点検・定期清掃実施	水質保全／公害防止	○
		緊急事態発生時の対処方法訓練実施		○



13 イベント 第46回 ふれあいグリーンキャンペーンを開催

人の心に緑の憩いを。

茨城トヨベツはより良い地球環境の実現を目指し、良き企業市民となれるよう社会・地域に根ざした様々な取り組みを行っています。

“ふれあいグリーンキャンペーン”は緑豊かな街づくりをめざした社会貢献活動として、1976年（昭和51年）よりトヨタ自動車と共同で毎年展開しています。

エコという言葉が騒がれていなかった40年以上前から、これまでに県内の各自治体に3,900本*を超える苗木を寄贈して参りました。また、環境問題に積極的に取組む企業として、グリーンキャンペーンとあわせて“地球にやさしいエコカー”を取扱うディーラーであることをPRし、MIRAI・カムリ・プリウス・プリウスPHV・アクアなどのエコカーの告知活動を展開しております。

令和3年5月12日に行われた46回目の苗木寄贈式は、つくば市長 五十嵐 立青様、茨城トヨベツ株式会社 幡谷社長、トヨタ自動車株式会社 川邊 安生様、歌手の橋 幸夫様、緑の大使としてタレントの土屋 炎伽様他、関係者が出席して行われ、つくば市大清水公園にソメイヨシノをはじめ45本の樹木を寄贈いたしました。

地球環境問題に対する取り組みは、現代を生きるすべての人が考えなければならない問題です。自動車を販売する会社として、様々な地球環境問題に対して真剣に取り組んでいくことが、日頃ご愛顧いただいているお客様や社会に対する私たちの使命であると考えています。

*令和3年度現在 累計実績3,913本

■令和3年5月12日（水）開催

■主 催：茨城トヨベツ株式会社 ■共 催：トヨタ自動車株式会社

■協 賛：公益社団法人 国土緑化推進機構

■寄贈先：つくば市

■会 場：つくば市大清水公園 ■寄贈物：ソメイヨシノ5本、セイヨウニンジンボク40本



茨城トヨベツ ふれあいグリーンキャンペーンの歴史

回	開催年	開催地	寄贈苗木(本数/株数)
1	昭和51年	水戸市 千波公園	ソメイヨシノ(100)
2	昭和52年	水戸市 保和苑	ハナミズキ(100)
3	昭和53年	水戸市 園芸センター	ロードデンドロン(100)
4	昭和54年	茨城県植物園	アイラムアザレア(50)
5	昭和55年	茨城県植物園	マгноリア(50)
6	昭和56年	茨城県民の森	ハ重桜(100)
7	昭和57年	茨城県植物園	カルミア(50)
8	昭和58年	茨城県植物園	メイフラワー(50)
9	昭和59年	茨城県民の森	ライラック(50)
10	昭和60年	茨城県民の森	エクスパリー(100)
11	昭和61年	茨城県植物園	ブルーベリー(100)
12	昭和62年	茨城県植物園	バラ(200)
13	昭和63年	茨城県植物園	ブルーベリー(50)
14	平成元年	水戸市 千波公園	ロードデンドロン(100)
15	平成2年	茨城県植物園	ウェイジェラ(200)
16	平成3年	日立市 かみね公園	コデマリ(100)
17	平成4年	土浦市 霞ヶ浦公園	カルミア(100)
18	平成5年	茨城県 偕楽園公園	オオデマリ(100)
19	平成6年	下館市 神明公園	ハナカイドウ(100)
20	平成7年	茨城県 八郷フラワーパーク	赤花モミジ(100)
21	平成8年	石岡市 八軒台公園	梅(100)
22	平成9年	鹿嶋市 城山公園	クレンゲツツジ(100)
23	平成10年	取手市 かたらいの郷	ムラサキシキブ・ヤマボウシ(各50)
24	平成11年	つくば市 松見公園	ヤマブキ・レンゲツツジ(各50)
25	平成12年	水戸市 逆川緑地	豊後梅(100)
26	平成13年	大宮町 東部コミュニティセンター	ソメイヨシノ(100)
27	平成14年	北茨城市 あかね平	ハナカイドウ(100)
28	平成15年	笠間市 総合運動公園	ソメイヨシノ(100)
29	平成16年	守谷市役所	ソメイヨシノ(95)・キンモクセイ(5)
30	平成17年	大洗町 水辺プラザ	ハマナス(100)
31	平成18年	水戸市 大串貝塚ふれあい公園	ソメイヨシノ(50)
32	平成19年	つくばみらい市 さくら公園	ハナミズキ(40)
33	平成20年	ひたちなか市 湊公園	メタセコイヤ(100)
34	平成21年	水戸市 逆川緑地	ヨウコウザクラ(12)
35	平成22年	下妻市 小貝川ふれあい公園 多賀谷城跡公園 緑地公園	ヤエベニシダレ(5) イチョウ(10) ヤエベニオオシマ(10)
36	平成23年	城里町 ふれあいの里	シダレザクラ(11)
37	平成24年	城里町 ふれあいの里	シダレザクラ(18)
38	平成25年	茨城県 沼沼自然公園	シダレザクラ(10)・アヤメ(50)
39	平成26年	茨城県 沼沼自然公園	シダレザクラ(1)・ヨウコウザクラ(10)
40	平成27年	茨城県 沼沼自然公園	ソメイヨシノ(16)
41	平成28年	小美玉市 やすらぎの里小川	サンシュユ(1)・アジサイ(270)
42	平成29年	小美玉市 やすらぎの里小川	ベニバナヤマボウシ(1)・アジサイ(300)
43	平成30年	笠間市 あたご天狗の森公園	駿河台句桜(31)
44	令和元年	土浦市 乙戸沼公園	寒緋桜(22)
45	令和2年	中止	
46	令和3年	つくば市 大清水公園	ソメイヨシノ(5)・セイヨウニンジンボク(40)

社会への取り組み

これからも、地域に密着した企業市民として



茨城トヨペットは、企業市民として各事業所周辺の皆さまとの交流を深め、地域社会の活性化、自然保護、文化的貢献など幅広い方面での社会貢献を追求しています。今後も、地域市民の皆様の声に耳を傾け、より豊かなまちづくりのため、地域市民の皆様とともに積極的な活動を進めます。



茨城トヨペット株式会社
代表取締役社長

幡谷 俊一郎

CSRレポート2022をご覧ください、誠にありがとうございます。

当社は今年の11月に創立66年を迎えます。

創業以来、『地域の皆様があつてこそ成り立っている』という感謝の気持ちを

忘れず、皆様へ恩返しができるように社会活動、環境保護活動に取り組んで参りました。

1976年から続く『ふれあいグリーンキャンペーン』は代表的な取り組みの一つです。記念すべき第1回目はソメイヨシノを100本お贈りしました。あれから46年の歳月が経過しましたが、開花の時期には満開の桜を咲かせてくれていることでしょう。

昨年、つくば市で開催された第46回目の植樹式を含めると、お贈りした苗木の数は累計3,913本になりました。憩いの場で皆様に愛されて苗木が成長していくことが楽しみです。

2002年にはISO14001認証取得、2008年からは環境目標に「販売実績に応じて盲導犬基金へ寄付」を追加するなど、社会のお役に立てる活動を続けて参りました。

近年では、県内の医療現場がさまざまな理由でお困りになっている現状を知り、茨城県と水戸市に車両5台を、また鹿行地域の病院には救急搬送車をお贈りさせていただきました。私たちも地域を構成するメンバーの一員です。問題意識を持ち、地域の皆様のお困り事に対して企業の垣根を乗り越えて、何かできることを行動していかなければならないと考えています。

最後に、ここまでの活動を振り返りますと、継続することの大切さを改めて実感します。

最近はSDGsという言葉もありますが、私たちは創業以来、『地域の皆様へ恩返しをする』活動を続けて参りました。これからも、皆様から愛され、選んでいただける企業であるように取り組みを続けて参ります。

1 第19回茨城トヨペット杯小学生ドッジボール大会



参加する全員が競技を通してひとつの目標を掲げ努力し、子供たちの健全な育成を目指すことを目的としてドッジボール大会を毎年開催しています。

2022年3月26日(土)にアダストリアみとアリーナで行われた今大会も熱く・楽しく・激しい戦いを繰り広げました。結果は以下の通りです。

チャンピオンシップの部 優勝:梅が丘ドッジボールクラブ
子ども会・フレンドリーの部 優勝:ULTIMATE SMILE
キッズの部 優勝:ST Enjoys kids

2 トヨタ未来スクール (旧トヨタ原体験プログラム)



※写真は過去の旧原体験プログラムのようす。

2010年よりお届けしてきました県内の小学校へ出張授業「原体験プログラム」が2021年春、これまでの約10年の実績を糧に、名称を「未来スクール」へと変更し、新たなスタートを切りました。

2021年11月30日(火)、つくば市立手代木南小学校(5年生)が「クルマまるわかり教室」でクルマと環境・経済の関わりをゲームで体験し、考えたこと、気づいたことを発表し合いました。

3 セーフティーキャンペーンを毎年実施



茨城トヨペットの各店舗では、もしもの時の災害に備え地域の皆様のお役に立てるよう、非常用保存水を備蓄し、自然災害発生時、被災地への支援に備えております。

また、9月の防災月間には備蓄した飲料水と「家とクルマの防災ブック」をご来店のお客様にお配りしております。



4 すべての人に快適な移動の自由を提供 ～福祉車両「ウェルキャブ」販売～

Welcab
ウェルキャブステーション
茨城トヨペットつくば西大橋店

「すべてのお客様に移動する自由をもっと身近に、もっと快適に感じてもらいたい。」という願いを込めて、2013年4月につくば西大橋店にウェルキャブステーションを設置しました。

トヨタの福祉車両「ウェルキャブ」は、お客様一人ひとりの様々な事情や使い方に合わせたカスタマイズによるきめ細やかな対応が可能です。

ウェルキャブステーションでは、ウェルキャブ車両の常設展示や専門スタッフによる適切なアドバイスをしています。



※写真はイメージです

5 AEDを全店に設置



茨城トヨペットでは、ご来店いただいたすべてのお客様が安全、安心かつご不便なく快適に店内をご覧いただけるように、ご高齢の方や体が不自由なお客様はもちろん、どなたでも安心してご来店いただきご相談できるお店づくりを実践します。

また、全店にAED（自動体外式除細動器）を設置し、お客様や社員の安全確保に努めています。

6 幼児向け交通安全教材の贈呈



社会貢献活動の一環として県内の幼稚園や保育所に、交通安全の大切さを楽しく学べる教材をプレゼントしています。

本年度は交通安全絵本「クックのこうつうあんぜんえほん『ぼくのたんじょうび』」を寄贈。

絵本は道路への急な飛び出しや幼児の一人歩きの危険性を、ひよこをモチーフとしたキャラクター「クック」を用い、分かり易く説明したものです。

7 季刊情報誌「さんさん」発行



茨城トヨペットでは、ユーザーの皆様は、車についての知識、関心を深めていただきますとともに、楽しく快適なカーライフをお送り頂くことを目的に、季刊情報誌「さんさん」を刊行し、希望のお客様に郵送しています。本冊子は茨城トヨペット各店のショールームでも無料配布しております。また、「さんさん」のバックナンバーは、茨城トヨペットホームページにてご覧いただけます。



茨城トヨペットさんさんバックナンバー
<https://www.ibaraki-toyopet.co.jp/CSR/sunsun>

8 「盲導犬育成基金」を積立て (公財)日本盲導犬協会へ寄付

茨城トヨペットでは「車両ご購入」「車検ご入庫」1台ごとに売上の一部を盲導犬育成基金として積立てております。ご購入いただきました皆様も「CO₂の削減に貢献する車を普及」させると同時に積立金を通じ盲導犬の育成にご協力いただいていることとなります。皆様のご協力により、当社の基金でこれまでに10頭の盲導犬がデビューしています。



盲導犬育成を行い、その頭数が年々増加をしていく一方で、盲導犬を受け入れる社会自体の理解は十分とはいえません。盲導犬とともに一人でも出かけられるようになったにもかかわらず、お店や交通機関で利用を断られてしまつては何の意味もありません。

盲導犬をはじめとする補助犬の受け入れをスムーズに行い、身体障がい者の社会進出と自立を促進することを目的として定められた身体障害者補助犬法は、補助犬と一緒に生活している身体障がい者のアクセス権を保障するものです。どうぞご理解ください。



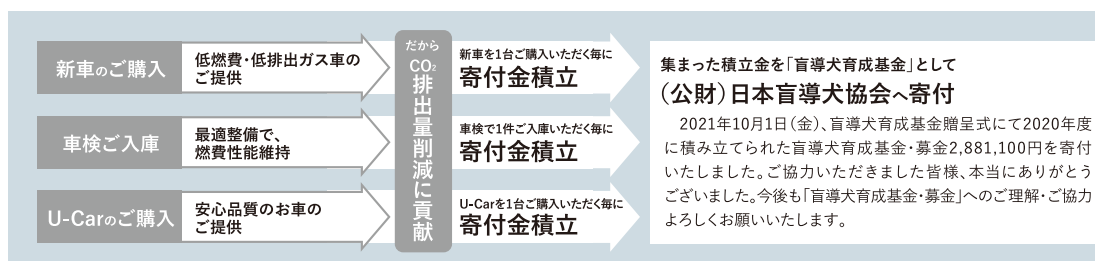
各店舗には募金箱も設置しております。



人と盲導犬が笑顔で歩く社会へ

公益財団法人
日本盲導犬協会

<https://www.moudouken.net>





9

イベント レポート

防災を家族で考えるきっかけに。 地域防災アカデミーを開催

日本では、毎年のように地震や台風、大雨など自然災害が発生して広範囲の地域が被害にあっています。そして、災害発生時に自分や家族の身を守ってくれるのが、それまでに習得していた防災知識です。いざという時に知識という備えがあるとスムーズな避難、命に関わる危険を回避することができます。

災害はいつどこで起きるか分かりません。防災知識は災害が起きた後にあらためて学ぶものではなく、普段から身に着けておくべきものです。

ですが、現状は「防災意識が高く、普段から準備をしている」という人は多くはありません。日常で防災知識を得る機会はありません、自主的に学んで知識を集めるしかありません。しかし、いつ起こるか分からない災害のためにわざわざ時間を作ることは難しく、つい後回しになりがちです。

茨城トヨペットが開催する「地域防災アカデミー」はお客様に対し、能動的に防災に取組み、危機管理意識を高め、いざという時の避難場所としてクルマを活用する方法を知っていただくことを目的としています。



イベント前半は、神栖市役所生活環境部防災安全課の方を講師に迎え、地域独自の基礎レクチャーとして災害の怖さとその対策、避難先と危険箇所を明確にしておくことの重要性を、参加者全員で話し合いました。

次に損保ジャパン株式会社からクルマの装備を使った救助として、バンタグラフジャッキを活用した救助術を講義と参加者を交えた実演にて学びました。

後半は防災クルマの活用術として、キャンプインストラクターの板谷 俊明様を講師に迎え、クルマでの避難知識と活用術の講義のほか、実際にクルマに設置する避難用のテント・車中泊グッズの設営やクルマから給電して暖房や調理器具を使う方法などを体験いただきました。

防災の基礎知識を家族で楽しく習得でき、日ごろの防災対策を見直すきっかけになるこのイベントは、日常における防災・減災への意識を高めてくれるものと考えています。



- 令和3年12月11日(土)・12(日) 開催
- 会 場：茨城トヨペット 神栖店
- 主 催：茨城トヨペット株式会社
- 協 力：一般社団法人茨城ワドキクラブ推進事務局
神栖市役所 生活環境部 防災安全課
キャンプインストラクター 板谷 俊明様
損害保険ジャパン株式会社

社員への取り組み

それぞれが個性を活かし、イキイキと働ける環境を作るために



茨城トヨペットではきめ細やかな独自の教育、研修システムを導入し、社員ひとり一人の個性と人間性を活かした能力開発を推進しています。そして、社員が充分に実力を発揮できる環境をさまざまな角度から検討し、構築しています。

1 「子育てサポート企業」として くるみんマークに認定

次世代育成支援対策推進法に基づき、一定の基準を満たした企業は「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定(くるみん認定)を受けることができます。この認定を受けた企業の証が、「くるみんマーク」です。

茨城トヨペットでは2016年2月に認定を受けています。



2 安全衛生委員会の設置

2007年12月より労働安全衛生法等、関連法令及び当社の就業規則第78条(安全衛生管理体制)に基づき「安全衛生委員会」を設置しました。当委員会では、当社における安全衛生の充実を図り、社員の安全と健康を確保するとともに快適な職場環境の形成を促進することを目的としています。

2019年4月より「働き方改革」の一環として、社員が効率的に働き、しっかり休むための各部署の取り組みを展開し、全体の意識向上を図る議論にも積極的に取り組んでいます。

3 ワーク・ライフ・バランスの 推進

組織の活性化と総労働時間短縮を図るための勤務体系づくりとして、本社では「フレックスタイム勤務」、営業店舗では「時間差勤務」を導入しています。

また「働き方改革」に先駆けて、2017年8月より「計画年次有給休暇制度(年間6日間)」を導入しています。計画的に有給休暇の申請をする事で家族や友人と旅行に出かけるなど、心身の疲労感をリフレッシュする良い機会として活用されています。

このように、仕事と生活のバランスのとれた「ワーク・ライフ・バランス」の実現を推進しています。

4 ハラスメントの防止

パワハラ・セクハラ等、個人の尊厳を不当に傷つける行為は絶対に許さない決意「ハラスメントは許しません!!」を全社に宣言しました。

5 社内サービス技術コンクールを 開催



“茨城トヨペットファンづくり”を根底で支えるサービスエンジニアが、“希望”と“やりがい”を持ちながら活いきと働ける環境を整備すると同時にさらなる技術向上を目的に、サービス技術コンクールが開催されています。

※写真は過去に開催されたものです。本年度のサービス技術コンクールは新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。

6 「人の成長」に重きをおいた採用・研修

茨城トヨペットでは、『求める人材像』を明確にすることで、社会に必要とされる人材の採用・育成に力を注いでいます。入社前研修では社会人としての考え方や仕事の流れを伝え、入社後も、求める人物像を目指した研修を段階的に実施。特にコンプライアンスや法令知識等は、社内の専門部署から講師を招き、社会人に必要な講義を展開しています。

さらに、中堅～管理職を対象とした階層的な研修も、時代のニーズに合わせて再構築を実施するなど、「人の成長」に重きを置いた研修システムを構築しています。

当社の求める人材像

常に豊かな人間性と向上心を持ち、社会の発展に貢献できる人材へ

- ① 短期的視点に限らず、中長期的な視点で仕事に取り組める力!!
- ② 人と人のつながりを大切にし、自ら考え主体的に行動できる力!!
- ③ 幅広い見識を持ち、常に前向きにチャレンジできる力!!

教育研修体系概要(一般スタッフ対象)

年齢目安	研修講座名	
55歳～	●キャリア・デザイン【Ⅱ】	定年後も再雇用される為に必要な現有能力を確認する 年金の基礎知識、再雇用チャレンジ制度についての理解を促進する
45歳～50歳前後	●キャリア・デザイン【Ⅰ】	自立に向けた10年後の職場生活を踏まえたキャリア開発のシナリオ作りの知識と技術の習得を目指す
30歳～40歳前後	●キャリア・ディベロップメント	自分の中核能力を理解し、今後どのように組織に貢献できるかを考える
5年次 24歳～26歳	●思考力向上	ビジネスパーソンに必要な論理的な思考能力を身につける
	●中堅社員研修	セルフコントロール手法とリーダーシップについて学ぶ
4年次 23歳～25歳	●キャリア・メイキング	キャリア開発に必要な考え方とスキルを習得し、これからのキャリアビジョンを考える
3年次 22歳～24歳	●コミュニケーション強化【知識】	ビジネスコミュニケーションの基本を身につける
2年次 21歳～23歳	●CSマインド	お客様満足度(CS)を高める為に必要な考え方と実践ポイントを理解する
	●キャリア・プランニング	自分の可能性を広げる為のキャリア形成に関する基本的な考え方を身につける
1年次 20歳～22歳	●メンタルヘルス【基礎】	各種ストレスに対するセルフケアのポイントを理解する

■管理職(店長、GM、課長、サービスマネージャー)対象の教育研修は別に定めています。

会社概要・店舗一覧

Corporate Information



本社

会社概要

設立	1956(昭和31)年11月1日
代表取締役社長	幡谷定俊
資本金	5,000万円
従業員	738人(2022年4月現在)
事業内容	新車販売、中古車販売、自動車買取、自動車整備、 保険代理店業、通信機器販売、通信設備施工、 レックス事業、カーシェアリング事業、クリーニング事業

営業状況(2022年3月期)

売上高	361.6億円
新車販売台数	7,057台
U-Car小売台数	3,255台
車両総整備台数(社外)	217,031台
車検整備台数	34,400台



茨城トヨペットは全店で
au携帯電話がご購入いただけます。

※GR Garage つくば、レックスつくば、レックスCPOつくば、WASH&FOLD水戸千波店を除く。

県北エリア



① 大津港店 ★
北茨城市関南町神岡下339-1
0293-46-5551



② 日立田尻店 ★
日立市田尻町4-36-1
0294-42-9611



③ 日立森山店 ★
日立市森山町5-1-8
0294-52-6306



④ 大子バイパス店 ★
久慈郡大子町池田1312-2
0295-72-5671



⑤ 大宮バイパス店 ★
常陸大宮市泉517-6
0295-52-1171



⑥ 笠松運動公園店 ★
ひたちなか市佐和2335-7
029-285-4111



⑦ ひたちなか昭和通り店 ★
ひたちなか市中根888-1
029-272-5671

県央エリア



⑧ アートタワー水戸店
水戸市泉町2-4-1
029-226-9311



⑨ 水戸千波店 ★
水戸市千波町2028-1
029-241-1121



⑩ 笠間大鳥居店 ★
笠間市飯合100-1
0296-74-4511



⑪ 小川野田店 ★
小美玉市川戸1353
0299-58-2831



⑫ U-Carセンター6号水戸店 ★
東茨城郡茨城町長岡4255-3
029-292-7221



⑬ U-Carセンター6号みのり店 ★
小美玉市西郷地1531-7
0299-48-2070



⑭ WASH&FOLD 水戸千波店
水戸市千波町1913-5
029-241-4040

県南エリア



⑮ 石岡東大橋店 ★
石岡市石岡2930
0299-23-2291



⑯ 土浦並木店 ★
土浦市上坂田1468
029-862-3111



⑰ 土浦荒川沖店 ★
土浦市荒川沖471-1
029-842-1234



⑱ ひたち野うしく店 ★
牛久市ひたち野東1-24-4
029-871-4361



⑲ 牛久南店 ★
牛久市牛久町822
029-873-3936



⑳ 6号取手店 ★
取手市井野台4-1-1
0297-74-8111



㉑ 竜ヶ崎出し山店 ★
龍ヶ崎市野原町79
0297-62-7631



㉒ 江戸崎店 ★
稲敷市江戸崎甲2561-1
029-892-5671



㉓ つくばみどりの店
つくば市みどりの2-39-3
029-836-8868



㉔ つくば東大通り店 ★
つくば市妻木745-2
029-852-3234



㉕ つくば学園の森店 ★
つくば市学園の森3-7-1
029-856-7211



㉖ つくば西大橋店 ★
つくば市西大橋648-3
029-858-2850



㉗ 守谷松並店 ★
守谷市松並2000-42
0297-46-3511



㉘ U-Carセンター土浦高津店
土浦市上高津726-3
029-823-6116



㉙ GR Garageつくば ★
つくば市学園の森3-2
029-859-5586



㉚ レクサスつくば ★
つくば市竹園1-4-3
029-855-7301



㉛ レクサスCP0つくば ★
つくば市西園418-59
029-861-1150

茨城トヨペットは
お客様のカーライフを
県内全域に及ぶ安心のネットワークで
トータルサポートいたします。

鹿行エリア



㉜ 潮来店 ★
潮来市上戸304-1
0299-64-6010



㉝ 神栖店 ★
神栖市堀割3-3-8
0299-92-5420



㉞ 神栖知手店 ★
神栖市知手3106-19
0299-95-1121

県西エリア



㉟ 筑西神分店 ★
筑西市神分393-1
0296-24-5311



㊱ 古河東牛谷店 ★
古河市東牛谷492-5
0280-98-0500



㊲ 下妻店 ★
下妻市下661
0296-43-3706



㊳ 常総石下店 ★
常総市新石下1648-1
0297-42-0567



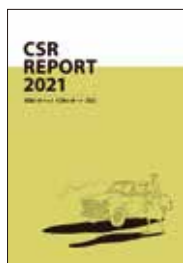
㊴ 坂東店 ★
坂東市辺田1402-73
0297-36-0567



環境活動の国際規格、ISO14001認証取得

茨城県内のトヨタ系ディーラー唯一のISO取得。
茨城トヨペットはこれからも積極的に環境問題に取り組んでいます。

★ISO認証店舗(適用範囲:自動車の販売、整備及び修理)



Message From Readers

前号(茨城トヨペットCSRレポート2021)にてお客様から寄せられた

ご意見・ご感想

本誌へのご意見・ご感想

- 一冊読み終えると、茨城トヨペットの歴史はもちろん、車社会や環境など、社会全体に対して考える時間を得る事が出来ました。
- 利益追求ばかりではなく、社会貢献に力を入れている茨城トヨペットの取組みは非常にすばらしい事であることを再認識するとともに今後も継続して頂きたいと思います。
- 御社の会社のCSR基本方針・労働安全衛生方針+茨城トヨペットが実現するCSRの三本柱に集約されると思います。題目に拘らず内容ある日頃の活動を期待します。
- トヨペットの社会貢献活動が素晴らしいと思いました。地球のためや、地域のためになることをしているのは知らなかったです。
- 私自身も2020年度入社なので、P2.3の写真に元気をもらいました。違う会社ですが、がんばっている同期の方々の顔がみれてうれしかったです。
- 車の販売、整備のみならず、様々な活動を行っていて感心しました。特に環境対応はこれからの日本、世界に対して重要なので期待しています。
- P17、盲導犬育成基金は知りませんでした。お店に行った際、必ず寄付をします。人と犬が幸せになれますように。
- 一般的にCSRレポートは、むずかしそうなイメージがあり、手にとりづらい事が多いですが、御社のレポートは、読みやすく、わかりやすいと思います。内容も多方面であり、参考にしたいです。
- 毎年読んでいるが、非常にわかりやすく、茨城トヨペットの会社としての取り組みがとても好感が持てる。
- 茨城トヨペット65年の歩みの年表に、旧車の写真や開発秘話や発売秘話などがあるととても興味がもてた。
- CSRレポートを毎回すみからすみまで見ております。良くまとめられております。編集スタッフの方々大変でしょうけど頑張ってください。
- 貴社の65年の歴史が年表と写真で詳しく紹介されていて、とても興味深く読むことができました。五軒本町の写真が懐かしかったです。
- 今まであまりじっくりと読んだ事がなかったですが、SDGsをテレビなどで知って、意識するようになってから改めてみせて頂いて、社会に対してとても良い取り組みをしている事を知った。
- 貴社が社会貢献を積極的に行っている事が良くわかりました。又、この様にユーザーにアピールする事がいかに大切かを良く分かっている企業だと感心致しました。
- いろいろな場所にトヨペットがあるのをこの本で知りました。近くに行ったらよってみたくまりました。オープン案内もまたのせてもらいたい。

読者の皆様が 環境や地域社会へ取り組んでいること

- 油の汚れは、使わなくなったタオルをカットしたもので拭きとってから洗っています。
- 緑化ボランティア団体に入り、活動の一環として、千波湖周辺の花壇の一部の植栽や管理をしています。
- エコバックは必ず持っています。割りばしの使用は控えます。使い捨て容器はなるべく使いません。つめかえが出来る物を優先して使います。
- 野菜のゆでたお湯を食器洗いに使っています。
- 「人生100年時代」の暮らし方、生活設計について、市民の方にお伝えしています。
- 週に2回、可燃物ゴミを捨てにゴミ収集場へ歩いていきますが、その間に落ちていたゴミを拾いながら行っております。
- 電気、ガス、ガソリン等の燃料等の月毎の消費量をチェックしてムリ、ムダの回避。
- リサイクルできるゴミについてはこまめに分別するようにしています。また、なるべくゴミを出さなくてすむように心掛けています。
- ゴミを出さない工夫、無駄に物を持たない。もったいない精神で”足を知る”生活。
- 小学生の息子が、小学校でのSDGsメンバーとして、環境やよりよい学校生活を目指して取り組んでいます。
- 市から委託を受けて公園をきれいにするボランティア活動をしています。きれいな公園には不審者が来る事も無く地域が明るくなるようです。
- 弱者の立場で道路標識や危険箇所を見つけた際、道路管理者に連絡しています。
- 防災士として、防災ボランティアに参加。
- NPO法人「茨城フードバンク」へ余っている米や食料品など、自宅食べきれないものを処分せず、寄付しています。
- エスカレーターがあってもほとんど階段を利用します。電気使用削減と健康維持と一石二鳥と考えています。
- まだまだドライバーの意識が低いが、横断歩道の歩行者優先。
- 私は道路をきれいにしています。
- 退職後町会や、青少年育成稲敷市民会議等で、朝の「あいさつ運動」を行ったり、中学生生徒への清活をやってきました。

茨城トヨペットへのご意見・ご要望

- 購入しました自動車の「かかりつけ医」としてフォローを期待しています。又、人は人に付きますので素晴らしい社員研修システムを引き続き行って下さると嬉しいと思います。
- 既存のユーザーを大切にしてください。その為にも企業は人なり、人材の育成が大切だと思います。
- 落ち着いた雰囲気の中でのんびり過ごすことができ、毎回伺うのが楽しみです。子ども向けに、持ち帰れる遊び道具(ぬり絵や折り紙等)があると嬉しいなと思います。
- 御社ネットワークのマップをみると、茨城県内の10市、8町、2村に支店がありません。今後の増設を期待しております。
- 今のまま気持ちのいいサービスを続けて下さい。お客として大事にされたら、うれしくなって他の人にも丁寧に接したいと思い、笑顔が循環しますね。
- トヨタ全車種の写真つきで紹介案内書があると良いと思います。また、今後の電気自動車の将来、あるべきAIとの係り方を教えて下さい。
- 母と娘など女性だけでも入りやすいような店の雰囲気だと嬉しいです。
- 企業理念と実際に活動する社員の生きがい、やりがい等をどう結び付けていくのかその旨を知りたい。
- 自己流になり勝手な運転を見直すドライビングクリニックや踏み間違え防止グッズの体験講座を希望します。
- 点検やタイヤ交換予約のWeb化を是非お願いします。
- ウェルキャブの販売や、今後もユニバーサルデザインの車の企画、販売、安心安全な車の推進をお願いします。
- なかなかコロナで外出できずドライブもかかないません。楽しいイベントをお願いしたいです。
- 子供、ペット向けのイベントをよろしくお願いいたします。
- お客様の目線に立っての経営を基本として、これからも続けてほしいです。
- 車の販売だけでなく、色々な事を行っている会社だと感じました。どうぞもっとアピールを行って下さい。
- トヨタ車全部トヨペットで販売することが出来て競争になり大変だと思いますが、ワンチームになって頑張ってください。
- 車便利グッズコーナーなども店舗に設けて頂きたいと存じます。
- 車の将来、電気自動車への取組みを知りたいです。(次回購入のため)
- 高齢ドライバー問題にアクションをしてほしいです。お願いします。
- 利用している店舗の飲み物がおもちかえり用の入れ物なのでうれしい!!すぐに飲みきれない時にいいと思います。
- イベントがスポーツ大会ばかりに。スポーツだけ…というのはやや硬直した考えだと思う。
- 新車販売も然り、クラシックカーなどの古い車の保全することの活動にも大いに期待しております。
- これからもお世話になると思います。今の愛車も10年になりそろそろ買い替えかと思っているので、相談に乗っていただけたらと思います。
- 廃油を減らすために、オイル交換時期を長くする。EV車の様にロングライフ(1年半)などの車はないですか？
- CSRレポートにFSC対応の用紙使用、植物油インキの使用をPRしては。

たくさんの貴重なご意見・ご感想・ご要望、ありがとうございました。

ご意見・ご感想をお聞かせください

「茨城トヨペット CSRレポート 2022」を最後までお読みいただき、ありがとうございました。
皆様からのご意見・ご感想などを本誌に付属の専用はがき(切手は必要ありません)にてお送りください。
いただいたご意見・ご感想は今後の改善に活かしてまいります。

おハガきをいただいた方の中から 毎月抽選で10人の方に

茨城トヨペットオリジナル

オーガニックコットンキャンバストート(S)を1つプレゼント致します。

■抽選期間:2022年6月～2023年5月 ■当選の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

■デザインは変更になる場合があります。



オーガニックコットンキャンバストート(S)

有機農法により育てられたコットンをオーガニックコットンと言います。化学合成した肥料や農薬を3年以上使用していない農地で栽培されており環境に配慮した地球に優しい素材となっております。

本体/約300×200×100(mm)・持ち手/約25×290(mm)容量:約4L素材:コットン(320g/平方メートル)

■お寄せいただいたアンケートのお答えご意見は、次回発行の「茨城トヨペットCSRレポート」に掲載させていただく場合があります。予めご了承ください。(個人名等は掲載いたしません)
※ご応募いただいた方の個人情報は、プライバシー保護を遵守し、収集させていただいた個人情報は、プレゼントの発送業務以外には使用致しません。

IBARAKI TOYOPET DIGITAL WALLPAPER 2022



Toyopet
since 1956



人気のクルマがオリジナルデザインの壁紙になりました！
毎月異なる彩り豊かな壁紙データを無料でダウンロードいただけます。

※データサイズは、PC、iPad、iPhone、Android でご用意いたしております。ご利用の端末に合ったサイズをお選びください。



ダウンロードはこちらから

茨城トヨペット株式会社 本社／水戸市千波町2028-1 <https://www.ibaraki-toyopet.co.jp/>

本社 お客様相談テレホン



フリーダイヤル 0120-309567

※この番号は本社（水戸）に通じます。車検・整備等のお問合せは、お店にお電話下さい。
受付時間：AM9:30～PM5:30（土・日・祝 ～PM6:00）

※弊社は月曜定休日を基本としておりますが、不規則でお休みを頂く場合もございます。定休日の詳細はホームページをご覧ください。